

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立柳津小学校

校長名 中田 雅章

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 自分やまわりの人の笑顔をうみだすために、自分づくり、関係づくり、未来づくりをキーワードに、生命の尊厳を大切に教育課程の編成及び見直しを行う。 ロイロノート活用重点校であることを踏まえ、児童の問題解決や情報活用能力を高める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を6つの期間に分け、それぞれに「合言葉」を位置付けて、ストーリー性をもたせた教育課程を編成し、自分が笑顔をうみだす主体となるよう指導にあたっている。 学習支援ソフトであるロイロノートを積極的に活用し、子どもたちが一つの学習道具として使用できるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観を通じて、多くの子供たちが授業に集中して取り組んでいる姿が見られた。子供同士で教え合う姿や話合う姿があり、関係づくりができていることが感じられた。 タブレットの活用はどの学年でも積極的に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自己調整しながら問題を解決することができるよう、授業実践を積み重ねながらよりよい手立てを見出していく。 主体的、対話的で深い学びとなるように、探究的な学びを意識したカリキュラム作りを行っていく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会を通じて、地域連携を図りつつ、開かれた学校を目指し、保護者の協力、地域人材活用を積極的に推進する。 原三溪の学習等を軸に、中学校の出口である「自律」へ向けた指導を行う。中学校区および中学校と定期的に交流を行い、共通理解を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者による学習ボランティアだけでなく、幼保小連携や、民生児童委員の参観、企業からの講師派遣など、地域の力を生かした学校教育を推進している。 小中一貫教育に関する3部会及び校区校長会を通して、4校が定期的に交流し、自律へ向けた指導について共通理解を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援推進委員会広報担当の尽力で動画による子供たちの様子がいくつも発信されていたり、学校HPの情報更新もほぼ毎日行われていたりすることで、地域に開かれた学校になっている。 小中一貫教育に関する3部会に参加できた。 創立150周年式典に参加できた。 中学校との連携は引き続きお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、PTA、コミスクからの情報発信を引き続き積極的に行っていく。 原三溪に関する学びなど、ぎふMIRAI'sの指導について成果と課題を明らかにし、中学校区で交流を行い、小中一貫教育の改善を図る。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 話し合うことと連絡事項とを区別し、会議の在り方を見直す。その中でteams等の活用を積極的に推進する。 学年の枠を超えた職員の関係性づくりを意図的に行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 連絡事項はデジタルで、話し合いは内容を明確にして行うことが浸透し、職員の時間外在校時間が大きく縮減されてきているが、各フロアの職員連携などにはまだまだ改善すべき点がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観で拝見する先生方の姿に活気があり、子供たちも元気になる。 教室内の掲示物を減らすなど、必要な部分に仕事の重点を置くようにしていることが伝わってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のワークライフバランスを意識したタイムマネジメント意識を向上させ、子供と向き合う時間の確保に努める。 互いの声かけ、気配り、支え合いを意識した自らの行動を大切に、互いを尊重したものの言える関係づくりをめざす。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な命を守る訓練を意識し、訓練日や災害発生場所の事前告知なしや休み時間の実施など、的確に自分の命が守れる行動ができるようにする。 これまでの生徒指導事案や感染症対策を踏まえ、事実に基づく指導を一層推進し、安全性の確保に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> これまでに、災害時の命を守る訓練を4月、9月、1月に、不審者対応訓練を9月に実施した。 保健委員会が中北薬品の指導の下、ブラックライトで手の汚れ具合を視覚化し、丁寧な手洗いの必要性を呼びかけた。 給食委員会が配膳台に残る菌の量を調べ、丁寧な拭き取りの大切さを呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> 選択式登校(自由登校)になり、心配な部分もあったが、見守りボランティアとして見ていると道草しながらでも、かかわりあいながら元気に登校する姿があり安心している。 難しいかもしれないが、地域とのかかわりの中で、防災訓練等が行えるとういのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練のための訓練とならないよう、訓練想定をより現実的なものとして実施するよう工夫していく。 引き渡し訓練を含め、保護者や地域が参加する命を守る訓練の実施に向けて、関係機関と調整を行っていく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 長期的見通しをもって予算要望を行い、当年度予算については計画的に執行するとともに、複数職員でチェックを行い適正に運用する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 適切に予算執行が行われるよう、事務職員だけでなく、管理職を中心に複数の職員でチェックしている。また、PTAからの寄附についても、市教委への届け出など適切に対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適切な教育環境づくりに努めていただきたい。市への要望やPTAとの協力もお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供が安全で安心して過ごすことができる学校環境づくりに向けて、予算を適切に執行していく。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/yanaizu-e/>